

地域医療構想調整会議の議事概要 報告書

広島市連合地区地域保健対策協議会
海田地域保健対策協議会
芸北地域保健対策協議会

会議の実施日時	令和5年7月10日 19:00~20:00 令和5年度 第1回 広島圏域地域医療構想調整会議及び南部・北部病院部 会合同会議
協議事項1 (紹介受診重点医療機関の確認について)	
<p>○ 事務局より、紹介受診重点医療機関の確認について説明。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 制度概要・ 紹介受診重点医療機関の確認に係る県の方針・ 対象医療機関の状況 <p>≪協議内容≫</p> <p>○ 事務局の説明があった後、質疑応答を行ったうえで、9医療機関が紹介受診重点医療機関になること及び2医療機関が紹介受診重点医療機関にならないことを確認した。</p> <p>① 紹介受診重点医療機関の意向ありで、基準を満たしている医療機関について (広島市民病院、土谷総合病院、広島記念病院、翠清会梶川病院、広島赤十字・原爆病院、J R広島病院、広島大学病院、県立広島病院)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 意見、質問なし <p>【協議結果】 紹介受診重点医療機関になることを確認</p> <p>② 紹介受診重点医療機関の意向ありで、基準を満たしていないが、水準を満たしている医療機関について (広島市立北部医療センター安佐市民病院)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 意見、質問なし <p>【協議結果】 紹介受診重点医療機関になることを確認</p> <p>③ 紹介受診重点医療機関の意向なしで、基準を満たしている医療機関について (榎殿順記念病院、医療法人社団一陽会原田病院)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 意見、質問なし <p>【協議結果】 紹介受診重点医療機関にならないことを確認</p>	
協議事項2 (地域医療介護総合確保基金の活用について)	
<p>○ 事務局より、地域医療介護総合確保基金の活用について説明。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 制度概要・ 済生会広島病院における活用区分・ 済生会広島病院における病床転換の概要	

○ 済生会広島病院より、病床転換の内容について説明。

- ・ 病床構成等の状況
- ・ 病床転換及び病床削減の計画内容
- ・ 新興感染症の対応
- ・ 関連設備（リハビリ訓練室）の整備

《協議内容》

○ 事務局及び済生会広島病院からの説明があった後、質疑応答を行ったうえで、広島圏域の地域医療構想に則したものであること及び病床機能分化・連携促進基盤整備事業の補助金を活用することについて合意した。

報告事項1（「高度医療・人材育成拠点」の整備に向けた検討状況について）

○ 広島県医療機能強化推進課より、「高度医療・人材育成拠点」の整備に向けた検討状況について説明。

- ・ 基本計画策定会議における検討状況
- ・ 地域懇話会の開催状況

《質問・意見等》

○ 基本計画の取りまとめについて（地域医療構想アドバイザー）

- ・ 現在、今年9月を目途に、基本計画を取りまとめているところ。
- ・ 移転先の敷地について、建物をどうするかというような議論や、建設コストが非常に高騰している中で、投資に見合う収益が得られるかというような議論も進めている。
- ・ 決定事項は、こまめに共有し、地域の理解を得ていきたいと考えている。

報告事項2（地域医療構想の進め方（対応方針の作成）について）

○ 事務局より、地域医療構想の進め方について説明。

- ・ 進め方に係る広島県の方針の概要
- ・ 医療機関の区分ごとの対応方針の作成方法・対応状況等

《質問・意見等》

○ 特になし。

その他

○ 紹介受診重点医療機関の確認等について（地域医療構想アドバイザー）

- ・ 紹介受診重点医療機関は、地域の医療機関の外来機能の明確化・連携について、各紹介受診重点医療機関を確定し確実に連携するということが始まった。
- ・ 基準に合った医療機関に関しては、特に問題がなければ紹介受診重点医療機関として認められるということであるが、第一に医療機関の意向ということなので、今回基準に合ったが、意向のなかった2医療機関に関して、地域のかかりつけ医としての機能を担ってきているということで、実際にその地域の医療提供体制のあり方について、特に大きな問題がなければ、紹介受診重点医療機関にならないことを認められて問題はないと思う。

- ・ 日本医師会の紹介受診重点医療機関の説明会があり、厚生労働省からの説明で、全国的には様々な問題が出てくるということであった。

地域によっては、地域医療支援病院であっても、地域のかかりつけ医として対応しなければいけないが、あくまで紹介受診重点医療機関というのは、病院全体として認めるものであり、各部診療科別にはできないということで、色々な問題が出てくるということであった。

- ・ 広島圏域に関しては非常に大きな医療機関がたくさんあるので、今後ともそれぞれの話を聞きながら、また勉強させていただきたい。

- ・ 地域医療介護総合確保基金で、済生会広島病院が地域包括ケア病棟に転換されるが、来年の診療報酬改定の中で、地域包括ケア病床に対して、様々な考え方が出てくるのではないかと。

在宅患者であっても、海田町の準急性期のような状況をこの地域包括ケア病棟で受けることで、いろいろな在宅を支援するという形が出てくるのではないかと思う。

それが、地域包括ケア病棟の認定に関係してくると思うので、十分地域との連携をとっていただきたい。

○ 新病院構想について（地域医療構想アドバイザー）

- ・ 新しい病院構想については、県医師会や各地区医師会から、いろいろな要望や不安の声を聞いている。

どこでどのように議論しているか、全体を含めた広報というのは難しいとは思いますが、意見を取りまとめる中で、是非、情報の公開をお願いしたい。

- ・ 重点支援区域の認定がないと国からの補助が受けられないので、新しい病院構想ができた時点で、この地域医療調整会議の中で、指定申請はいつ頃がよいのか等を考えてみたらよいと思う。

○ 病院の機能の明確化について（地域医療構想アドバイザー）

- ・ 地域医療構想にしても、外来機能報告制度にしても、いずれも各病院の機能を明確化していこうということであり、明確化は、何のためにするのか、それは公的病院同士の中での機能の連携ということが、非常に大事だと思う。

- ・ 公、民の病院のそれぞれの役割分担ということも非常に大事だと思う。

- ・ 広島圏域の中での新たな病院構想における断らない救急というのは非常にありがたいと思うが、同時に、民間で担っている二次救急病院の役割も、トータルで非常に大切だと思うので、新たな病院構想、或いは各地域の地域医療構想の中で、公民の役割分担や連携ということについても、しっかりと協議や認識をしていただきたい。

○ 高度医療・人材育成拠点について（委員）

- ・ 地域懇話会の議題の中で、県立広島病院や中電病院が去った後の地域の住民や医師会の先生方の持っている不安が、今の状況では全く解消されてないと思う。あわせて、今までの病院を非常に頼っていた住民の方が、駅を越えて新病院にはなかなか行きにくいと思われる。

- ・ そうした中で、地域住民の方たちが、何らかの機能を残して欲しいという意見も、もつともだ思うので、そういうところについての議論をもう少し深めていただきたい。